

Q&A

ズバリお答え! プロテクトX2



Q1 よく間違われるハンドクリーム・ハンドローションとの大きな違いは?

A ひとことで言いますと、仕事の「前」に塗るのがプロテクトX2で、「後」に塗るのがハンドクリーム類です。

■お仕事の中には、皮膚に触れると「手荒れを起こす物質」や「汚れや臭いが皮膚に浸透して、石鹸・洗剤ではなかなか落ちにくい物質」を扱う作業があります。それらに触れる前に、皮膚の角質に保護膜を形成させるクリームでコーティングすることで、皮膚を守る用品が**皮膚保護クリーム**です。
一方、水仕事で失われた皮脂や水分を保湿成分で補う用品が**ハンドクリーム類**です。ただ、頻回な水仕事や消毒では、保湿成分は流されてしまいますので、事後措置的な用品です。
■皮膚保護クリームは、水洗いしても保護膜が落ちにくい特性を有っていて、手荒れ防止効果はより高く、まさに予防措置的な用品です。



Q2 医療・介護のどんな仕事で使用できますか?

A 水・湯・消毒剤を使う仕事、汚れ・臭いを洗浄する仕事の多くに使えます。

■例えば、病院の手術室、ICU、透析室、検査室、各病棟等では、特に手指消毒は頻回に行われます。最近では、擦り込み式のジェル状アルコール消毒剤が普及していますが、やはり手荒れは避けられないようです。そんな時に、プロテクトX2は「**予防力**」を兼ねて、手荒れをしっかり防ぎます。
■歯科医院でも手荒れ防止効果は同様ですが、石膏やレジジン液での汚れ・臭いの付着に対して、落とすのが容易です。
■また、赤ちゃんやお年寄りの尿・便漏れによるオムツかぶれに対しても、保護膜で皮膚を守ります。
手以外の部位（顔、足、おしり、かかと）にも使用できるので、ハンドクリーム類と比べて幅広い用途を備えています。



Q3 ハンドクリームとの併用は効果的ですか? 塗る順番は?

A ■ハンドクリームとの併用は種類にもよりますが、保湿性を高める意味では効果的です。先にハンドクリームを塗って、それからX2を塗って下さい。ハンドクリームの保湿成分を、X2の保護膜成分が角質に閉じ込めて、落ちにくくします。但し、べたつきが増加しますので、入浴後か帰る前がよいでしょう。
■もっとも、プロテクトX2には、保湿成分や抗炎症成分も含まれていますので、医療現場での習慣的な併用は必要ないと考えます。

Q4 効果的な使い方は? (手に塗る場合)

A ■1日に2回塗りが標準ですが、現在、手荒れが起きている場合や、特に頻回な手洗いの場合は、追加塗りをお勧めします。保護効果は1回で3~4時間持続しますが、個人差があります。



ご使用上の注意

■傷・はれもの・湿疹等のある場合は、使用しないで下さい。■使用中や使用後に刺激等の異常が現れた場合は使用を中止し、皮膚科専門医にご相談下さい。■目に入った時は、直ちに洗い流して下さい。■乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。■極端に高温または低温の場所、直射日光の当たる場所には保管しないで下さい。

成分

有効成分:グリチルレチン酸ステアリル、酢酸トコフェロール
その他成分:セタノール、ステアリン酸、アミノエチルアミノプロピルメチルシロキサン、ジメチルシロキサン共重合体、ミリスチン酸イソプロピル、濃グリセリン、ミリスチン酸、パーフルオロポリエーテル、PVP、ベニルアルコール、TEA、DPG、フェノキシエタノール、PCAインステアリン酸POEグリセリル、モノミリスチン酸トコグリセリル、POEトリシドールエチル酢酸Na

プロテクトX2:商品仕様

写真	内容量	単価(税込)	最長使用可能期間(※)	JANコード
	60mL (携帯)		約2.5ヶ月 (約100回分) 個人用のスタンダード品	4 560215 260065
	240mL (中型)		約10ヶ月 (約400回分) 個人用のお徳用品	4 560215 260072
	480mL (大型)		約1年8ヶ月 (約800回分) 法人用のスタンダード品	4 560215 260089

ご利用は

販売名 **プロテクトX2** 分類 医薬部外品(日本製) 性洗乳液
～スキンケアの最先端へ～
皮膚保護クリーム プロテクトXシリーズ
発売元 **有限会社アースブルー**
〒205-0017 東京都羽村市羽西1-17-11
TEL:042-654-7783 FAX:042-579-0219 http://earth-blue.jp
製造販売元 株式会社ニューヘアー化粧品本舗
東京都千代田区神田栗山下1-11 基地

(※)一人1日0.6mL×1日2回×月20日使用するとして計算

(制作:有限会社アースブルー 06.C4)

医薬部外品

プロテクトX2 Protect 先端のX2 皮膚保護クリーム



予防こそ最大の効果

ハンドケアは予防が決め手

予防こそ最小のコスト

60mL 携帯(約100回分)

240mL 中型(約400回分)

480mL 大型(約800回分)

手荒れの実状とハンドケア用品は?

皮膚保護クリームの手荒れ防止作用とは?

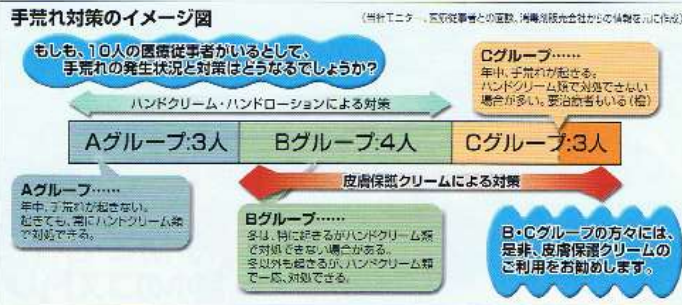
どんな皮膚保護クリームを選べばよいでしょうか?

お仕事の前に塗るプロテクトX2の手荒れ防止効果を実感してみてください。

見直しませんか？
医療・介護現場の
ハンドケア用品

見直しステップ1 手荒れの実状とハンドケア用品は？

- 医療・介護業務においては、院内感染防止対策の強化に伴い、「一処置、一手洗い」の励行が不可欠のものとなっています。一方、手指消毒をすればすれほど、「手荒れが起る医療従事者の方がおられる」ことも実状です。下図は、10人の医療従事者がおられるとして手荒れの発生比率を当社のモニター結果等からイメージ図で表したのですが、おそらく、医療従事者の多くの方は同意していただけるはずです。
- ここで注目していただきたいこと。それは、一般的にハンドケア用品にはハンドクリームやハンドローションが使われていますが、**皮膚保護クリームという新たなハンドケア用品が、手荒れ防止に大きな効果をもたらすこと**です。それでは、お仕事の前に塗って、あらかじめ皮膚に保護膜を形成する皮膚保護クリームとは何でしょうか？



ハンドケア用品は
法人負担？ 個人負担？

アース・ブルーによるモニター結果は、551人のモニター結果ではハンドケア用品を法人負担している比率は28%であり、手荒れ発生比率の発生状況と比べて、法人負担の割合が低いことが分かります。

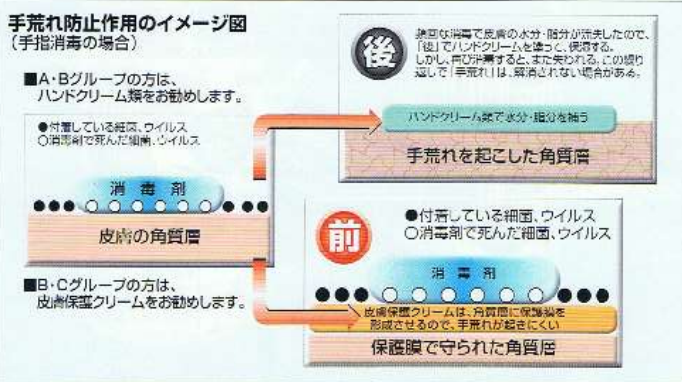
参考として、1.発生した個人による物品支給の公平性 2.社会的利益の発生 3.ケア用品自体の品質向上 4.経費削減効果が挙げられます。

しかし、手荒れ防止する手荒れ防止は、効果は時間経過とともに低下してきます。そこで、プロテクトX2の1回塗布で3週間持続するケア用品を調達することで、再度の塗布を繰り返す必要がなくなります。

モニター結果から見た手荒れの発生率とプロテクトX2の塗布回数による効果比較もご紹介します。

見直しステップ2 皮膚保護クリームの手荒れ防止効果とは？

- 本来、皮膚は皮脂によるバリア機能を持っていますが、その力を越える外的要因に度々触れることで、皮脂と水分は失われ、手荒れが発生します。
- 皮膚保護クリームは、シリコン等の超微粒子(1000万分の6mm)の保護膜成分が角質層に浸透して、強固なバリアを形成して、多くの外的要因から皮膚を保護します。塗った後に、手洗いやアルコール消毒をしても、保護膜は流されにくくなっています。1日2回塗りが標準ですが、追加塗りをするとより効果的です。しかし、ハンドクリーム類のように手洗い・消毒の度に塗る必要はありません。もちろん、塗った皮膚の内側からの汗や二酸化炭素の排出を妨げることもありません。
- ハンドクリーム類にはないユニークな特長は、手荒れを防止するだけでなく、皮膚に付着した汚れ・臭いを角質や甘がわ、爪への浸透を防いで、従来の方法よりも落とし易くすることです。
- 皮膚に保護膜を形成することが、手荒れ防止のみならず、汚れ・臭いの浸透防止という作用も有することで、医療・介護業務での幅広い有用性が発揮されます。



日本の皮膚保護クリームの今……

日本の皮膚保護クリームの市場を見ると、約1億3千万円規模の市場規模が、日本に初めて輸入されたこと、あるいは海外からの製造業者が増えることにより、市場が拡大してきています。

しかし、適切な品質管理がされていない製品も多く、消費者が安心して使用できる製品が少ないのが現状です。医療・介護現場では、手荒れ防止効果の高い皮膚保護クリームを求め、安心して使用できることが求められています。

プロテクトX2は、1回塗布で3週間持続するケア用品を調達することで、再度の塗布を繰り返す必要がなくなります。

見直しステップ3 どんな皮膚保護クリームを選べば良いでしょうか？

～プロテクトX2には、「お薦めできるたくさんの特長」があります～

特に重要な3つの特長

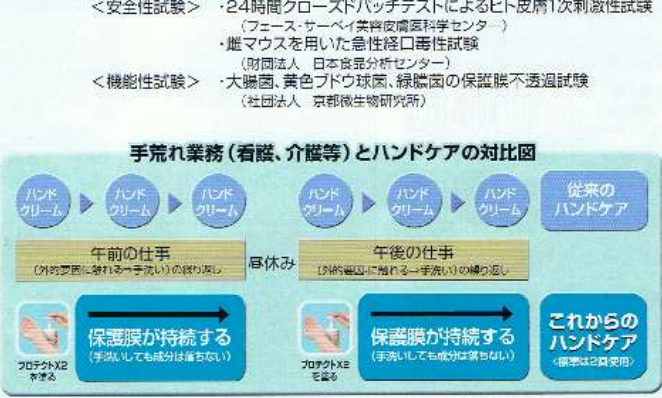
- 1.保護作用を強化しました**
従来の皮膚保護クリームには見られない、保護膜成分を3種類配合した製品です。手洗い・消毒による皮膚への刺激を、しっかりブロックします。
第1の保護膜:シリコン 頻回に使用する水・湯を、はじいて、手肌をブロック
第2の保護膜:フッ素 手肌に刺激を与える消毒剤・洗剤・油からもブロック
第3の保護膜:PVP さらに上からビニールの手袋をはめるイメージの保護膜

- 2.皮膚をすこやかに保ち、うるおいを与える成分を配合しました**
医薬部外品としての有効成分を2種類配合して、ひび、あか切れ、しもやけを防ぎますので、いっそうすこやかな手肌で医療・介護業務にお取り組みください。
グリチルレチン酸ステアリル 抗炎症作用があり、皮膚の炎症とかぶれを防止します
酢酸トコフェロール ビタミンE誘導体によって、血行促進作用が働きます

- 3.爽やかな使用感を実現しました**
保湿度と使用感のバランスを取ることに難しさを感じました。さらさら としっとり の絶妙なバランスを実感してみてください。
匂いがほとんどない クリームがほとんどなく、心地良さは抜群
ベタつきがとて少ない さらさら としっとり を併せた爽やかな使用感

特長は他にもあります!

- 4.国産品でコストを抑えました**
例えば、480mL品を1回0.5mL使用すれば、約800回使用できます。仮に月20日勤務の5人の職場で1日2回、共同使用すれば、約4ヶ月持ちます。ハンドクリーム類を1日何回も使用するよりも、コスト、手間、手荒れ防止効果の面で、トータル的な優位性があります。
- 5.利便性を高めました**
携帯、中型、大型の3種類の容器を職場の人数、形態に合わせてご選択ください。全てプッシュ式ですので、クリームが出し易くなっています。
- 6.安全性・機能性試験のエビデンスを備えました**
＜安全性試験＞ ・24時間クローズドパッチテストによるヒト皮膚1次刺激性試験 (フェリス・サーベイ美研皮膚科学センター)
・ヒマリスを用いた急性経口毒性試験 (財団法人 日本食品分析センター)
＜機能性試験＞ ・大腸菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌の保護膜不透透試験 (社団法人 京都微生物研究所)



皮膚保護クリームの選び方 (チェック項目の例)

- ① 保護膜成分は何を配合していますか？
- ② 医薬部外品の有効成分を配合していますか？
- ③ 使用感は良いですか？
- ④ コストは安く、費用対効果はありますか？
- ⑤ 利便性は良い製品ですか？
- ⑥ 各種試験を実施していますか？
- ⑦ サイクル可能な容器ですか？
- ⑧ 防菌効果は何を配合していますか？
- ⑨ 多くのモニターを擁した製品ですか？

手荒れ防止効果のモニター結果は？

プロテクトX2の姉妹品、プロテクトX1の第1回モニターでは94%のモニター、551人の医療従事者対象とした結果、「手荒れ防止効果率70%」を示しました。実施時期が全シーズンに亘ったため、80%以上は達成できませんでした。冬場ならばさらに高率を示すものと予想されます。今後も、数多くのモニターを通じて効果測定を続けていきます。

使用感では抜群の高評価

同時に、使用感では

- ・ベタつきが気にならない:83%
- ・ニオイが気にならない:94%

を示しました。さらに600人のモニターでは、いずれも90%以上を示し、使用感の高さが高い評価を受けています。

広がる用途、意外な用途

医療・介護以外の用途では、食品、美容、工業で使われています。洗浄による手荒れ防止と汚れ・臭いの皮膚への浸透防止(→洗浄しにくい)作用を発揮します。海上・航空機乗務員の機内整備時などに採用になりました。

意外な用途では、スポーツ中の皮膚の摩擦に対する防止に使われています。あるロッククライミングジムでは練習前に塗って、指の皮膚にかかる負担、摩擦が抑えられることで、クライマーに好評です。他にも、顔炎・虫刺さりの水疱療法、消毒・医薬品、塗料・塗料等の多様な用途があります。もちろん、ご家庭でも使えます。皮膚に保護膜を作ると、様々な世界で用途が広がるのです!